

ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO

- 3月号 ① 総合型地域スポーツクラブサミット実施報告
TOPIX ② 連絡協議会自主事業第4回意見交換会実施報告
総合型クラブ登録・認証制度原案の修正案等に関する説明会報告
③ 令和元年度SG全国ネットワーク総会参加報告
④ クラブ巡回訪問報告

ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO

総合型地域スポーツクラブサミット実施報告

令和2年2月2日（日）、ニンジニアスタジアム第3会議室において、愛媛県スポーツ協会と総合型地域スポーツクラブマネジャー協議会に後援をいただきながら、令和元年度総合型地域スポーツクラブサミットを開催いたしました。

今年度は、NPO 法人スポーツ教育支援クラブ理事長の山本孔一先生を講師にお招きし、「ホスピタリティーで組織をつくる」と題して講演をしていただきました。

普段、クラブの運営に携わっているクラブマネジャーや、クラブの中心となって活躍されている方々にとって、コミュニケーションとホスピタリティマインドが必要な能力であることを、ワークショップを交えながら話していただきました。

初めに簡単なホスピタリティ診断を行った後、これから総合型地域スポーツクラブが生き残っていくためには、互いを尊敬し合う関係を基盤とした、気持ちの良い組織風土が大切であり、「一緒に活動できることが喜びとなる組織」「やる気がうまれる組織」「創造する楽しさがうまれる組織」「ホスピタリティマインドのあふれる組織」をつくっていくことが求められるということでした。最後にホスピタリティを高める5つのポイントとして、『人に好奇心をもち、学び取ること』『違う人物になりきること』『挨拶は最大の武器であること』『暮らしの節目に心温まる配慮をすること』『プラス志向で活動すること』をアドバイスしていただきました。参加者にとっては、もう一度クラブの目的やミッションをスタッフと共有し、プラス志向でクラブ運営に関わっていくことの重要性を再確認できたのではないかと思います。我々、えひめ広域スポーツセンターも、各地域で頑張っておられる皆様に、ホスピタリティマインドを忘れずクラブ運営のお手伝いをさせていただきたいと思っています。



連絡協議会自主事業 第4回意見交換会実施報告

令和2年2月2日(日)午後、ニンジニアスタジアム第3会議室において、愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会自主事業第4回意見交換会が行われました。

今回の意見交換会は、愛媛県内各総合型地域スポーツクラブ間の協力関係強化や連携体制構築を図るべく、自クラブ紹介(クラブ名・所在地・設立の経緯・活動種目・会員構成・スタッフ構成・クラブの長所・クラブの短所・課題・今後の見通し等)を行いました。「地域のスポーツ施設利用における優遇(減免)措置について」、「スタッフや講師への謝金の支払い状況について」、「中学校部活動との連携状況やそのきっかけ、外部指導者について」、「クラブHP等、広報手段について」、「市町行政とクラブとの連携状況について」等、質疑応答や個別の情報交換・意見交換も行われ、各クラブ間の協力関係強化や連携体制構築のきっかけを作ることができました。今後も、このような取り組みを継続し、クラブ間の指導者派遣やイベントの共催等の積極的な交流につなげられればと思います。

最後に、えひめ広域スポーツセンター(愛媛県スポーツ振興事業団)の亀田課長から、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に伴う運用体制等再編の現状が紹介され、現場クラブの意向を反映することのできる体制の維持を切望する声が多く聞かれました。



総合型クラブ登録・認証制度原案の修正案等に関する説明会報告



JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREで開催された総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度原案の修正案等に関する説明会に出席しました。※令和2年度愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会評議員会(6月7日開催予定)において、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の詳細について説明いたしますので(予定)、ぜひご出席ください。

説明会の要点・主な変更点は、以下の通りです。

・登録クラブを中心に新たな「愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」が組織され、愛媛県スポーツ協会が運営にあたる。都道府県協議会規程については策定しない。

- ・登録・認証制度導入後、一定期間(令和3年度・4年度)は審査が簡略化(形式審査:実質的な審査は行わない)され、登録を希望するより多くのクラブに準備期間(猶予期間)が与えられる。令和3年度・4年度は、全てのクラブが「予備登録クラブ」となる。
- ・登録基準の定期的なスポーツ活動の実施について、「定期的」の定義が、年24回以上から年12回以上に、登録基準における「多世代」の定義が、3区分から10区分に変更された。

この他にも、変更点等があります。確認したい点等ございましたら、えひめ広域スポーツセンター(Tel: 089-963-2216)までお問い合わせください。



見えてきた! 総合型クラブの登録・認証制度の全容

去る2月26日(水)に東京都新宿区で開催された「令和元年度SC全国ネットワーク総会」にオブザーバーとして参加しました。その議事の中で、(公財)日本スポーツ協会の担当者から「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度及び中間支援組織の整備について」関連資料に基づいて説明がありました。そこで、総合型クラブの立場に立って私なりに整理した内容の概要は次の通りです。



【総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度原案の修正案について】

- 登録審査の主体が、都道府県体育・スポーツ協会から都道府県協議会に変更された。
- 多くのクラブが登録申請を行えるように、制度導入後一定期間(令和3・4年度)は審査が簡略化(形式審査:実質的な審査をしない)され、登録を申請するクラブは全て「予備登録」として扱われる。
- 登録期間が、令和5年11月1日から1年間となった。したがって、10月末日までは全て「予備登録クラブ」となる。
- 登録基準の必ず満たすべき運用ルールにおける定期的なスポーツ活動の実施について、「定期的」の定義が、年24回以上から年12回以上に変更された。
- 登録基準の必ず満たすべき運用ルールにおける「多世代」の定義が、3区分から10区分に変更された。
- 登録審査について、原案では書類審査と実地審査を行うことになっていたが、修正案では登録審査委員会の判断で、実地調査を省略することができることになった。

【都道府県レベルで設置する中間支援組織の在り方について】

- 中間支援組織とは「都道府県体育協会等が主体となり、都道府県のクラブ間ネットワークと連携・協働して総合型クラブの自主的な運営の促進に向けた支援を行う組織」と示されている。
- 中間支援組織の具体的取組として、①総合型クラブ登録・認証制度の運用、②総合型クラブ関係情報の分析、③相談窓口の開設、④クラブ指導・助言訪問、⑤クラブ運営スタッフ研修会の開催、⑥広報活動、⑦クラブアドバイザーの配置が示され、これらは一括して県体(スポ)協が担うことが望まれる。
- ただし、これらの対応を令和3年度から開始することが難しい県体(スポ)協においては、次のア又はイの対応を図ることとする。
 - ア ②~⑦の一部又は全てが担えない県体(スポ)協は、当分の間、当該県の各支援主体における役割分担で対応する。
 - イ ②~⑦はもとより①に関する業務自体、令和3年度から実施することが困難な県体(スポ)協は、特定団体と合意書を締結する。

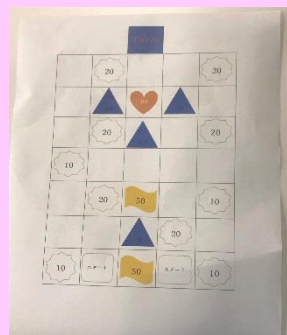
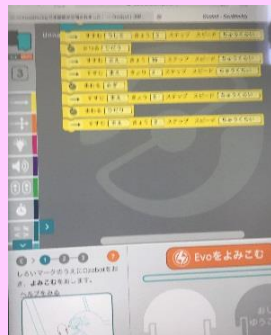
これらの内容は、今までのさまざまな会議において各都道府県連絡協議会等から強く要望したことに対応して修正・改善したものであり、私は改めて現状を踏まえてソフトランディングをしていると実感した。ただし、愛媛県における具体的な中間支援組織体制についてはまだはっきりしていないのが実情なので、これから県地域スポーツ課と県スポ協、当えひめ広域スポーツセンターで協議を重ねて、県下の総合型クラブにとってよりよい体制を再構築していきたいと考えている。(文責・亀田勝豊)

スポーツ&プログラミング教室

愛媛大学総合型地域スポーツクラブ

12月14日(土)に、愛媛大学総合型地域スポーツクラブのスポーツ&プログラミング教室に参加しました。来年度から小学校で「プログラミング教育」が必修化されることもあり、関心をもたれている方が数多く参加していました。今回の教室で使われていた教材教具は、Ozobot(オゾボット)というプログラミングされた通りに移動する小さなロボットです。Ozobotを紙面上で走らせ、マイナスポイントや3秒休みのようなトラップを避けながら、制限時間内にいかに多くのポイントを取るかというゲームを行いました。まず、Ozobotを走らせるルートを考え、タブレットを使ってその考えたルート情報をOzobotに読み込ませます。そして、Ozobotを動かし得点を獲得します。Ozobotが動く様子は、まるで無人で動く掃除機ロボットのようなものでした。

子どもたちからは「この道を通ったほうがいい。」「条件を変えてやってみたい。」など多くの意見や感想等も出ていて、大変盛り上がった教室になりました。



NPO 法人トレールスポーツクラブ

～健康からだづくり教室～

2月12日(水)にジョイグリーン重信で行われた健康からだづくり教室に参加しました。講師の先生は、愛媛十全医療学院附属病院で理学療法士をされている石田裕也先生でした。教室の内容は、正しい姿勢の作り方についてです。猫背にならないようにするために、日頃気をつけておくことやストレッチの仕方を分かりやすく教えていただきました。参加者のみなさんも姿勢のことで気になることを先生に積極的に聞かれていて、雰囲気の良い教室でした。

興味のある方は、ぜひ参加してみてください!!



えひめ広域スポーツセンター情報誌 ECO-SPO3月号

発行元 公益財団法人愛媛県スポーツ振興事業団(えひめ広域スポーツセンター)

松山市上野町乙46 愛媛県総合運動公園内 TEL 089-963-2216 FAX 089-963-4104

Eメールアドレス info@eco-spo.com